

番号	中事業	事業項目	担当課名	事業内容	事業目的	対象者	指標式名	実施内容	「デジタル化」に対応した食育の取り組み
								令和4年度	
1	子育て支援啓発事業	離乳食講座と実習	幼児教育センター	月齢や発育・発達状態に合わせた離乳食の段階や調理方法の指導、基本的な食材を使った離乳食作りと試食体験。	月齢や発育・発達状態に合わせた離乳食の確実なステップや調理方法の指導により、食事の基礎を作る。また、情報交換や相談の場の提供により安定した生活を図る。	妊産婦 乳児の保護者	参加者満足度	<ul style="list-style-type: none"> 回数 離乳食前期5回、離乳食後期5回 オンライン開催3回(合計13回) 内容 離乳食についての講話、実習、実演、質疑応答など 	【④-1完全オンライン配信】 コロナ禍であったため、対面講座は人数を例年より大幅に縮小しての開催として実施していたため、年間3回のオンライン開催を合わせて実施した。乳児を連れて外出することに不安がある参加者からは「オンライン開催なので参加できた。」との意見がありました。
6	食育推進事業(再掲)	ヘルシークッキングコンテスト[家族そろっての食事推進]	健康づくり課	望ましい食習慣を身につけるために、簡単に作ることができるメニューを募集し、募集した作品のレシピの配布等を行い、周知・啓発を図る。	啓発をとおして、各家庭での基本的な食習慣(家族そろっての食事や朝ごはんを食べる)を見直す機会を図る。	市民	応募作品数	<p>「忙しい朝に手軽に作れる一品料理」を募集した。応募作品の事前審査後、1次審査を佐世保市役所内で実施、1次審査で選出された作品を2次審査の市民投票(WEB投票含む)にて審査。最終審査は入選者による調理、審査員による試食を含む審査、及び表彰式を実施した。入選した作品は佐世保市ホームページやクックパットを用いて普及・啓発を行った。</p>	<p>【①Webサイト】 コンテストの作品募集・2次審査の実施・最終審査の実施・結果など随時佐世保市ホームページにて周知した。</p> <p>【②SNS】 2次審査について、佐世保市ホームページ上で実施している旨をSNSにて情報を発信した。COOKPADのコンテンツがSNSに当たるかわかりませんが、入賞作品を掲載して紹介し、普及を行っている。</p>
7	食育推進事業	大学生・専門学校生への食育推進事業	健康づくり課	家庭から自立し、食生活が乱れやすく、栄養バランスが偏りやすい時期であるため、各学校のSNS等と連携し、望ましい食生活の継続に向けた情報発信を行う。	望ましい食生活に関する知識を普及することで、将来の生活習慣病を予防する。	市内の大学短期大学専門学校に通学する学生	情報発信回数	<p>以下のとおり取り組みを行った。</p> <p>①大学・専門学校のSNSについての調査実施 ②11月:臨地実習生作成の啓発ポスターを市内9カ所の大学・専門学校等に掲示 ③市内2大学等のSNSへの記事掲載依頼</p>	【②SNS】 各大学でのSNSを使った学生への情報提供を行っているか調査を行い、実施をしている大学へSNS記事を作成し、大学へ依頼して情報提供を行ってもらった。
11	育児等健康支援事業(再掲)	マタニティ学級	子ども保健課	妊娠中に起こりやすい異常、妊娠期・授乳期の食生活と歯の健康についての講話を実施。	健康の増進、生活の質の向上、バランスのとれた食生活による豊かな生活、家族で食卓を囲む楽しい食事の実践につながる。	妊婦	マタニティ学級受講率(産婦人科実施分含む)	<p>講義形式で2か月に1回の講座を開催。また動画配信及びアプリを活用した情報配信を行った。</p>	<p>【①Webサイト(アプリ)】 させぼ子ナビ(アプリ)登録者に下記の通り、市ホームページ「させぼ★みんなの食育ひろば」につながるURLを配信している。</p> <p>①妊娠17週:妊産婦の食事 ②0歳4か月:離乳食 ③2歳6か月:幼児食</p> <p>【③動画配信】 市ホームページに出汁の取り方の動画をYouTubeで掲載予定。</p>
13	特定保健指導事業費	特定保健指導	医療保険課	国民健康保険加入者の40~74歳を対象にメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目し、管理栄養士による対象者の健康状態に応じたきめ細かな栄養指導などを、特定保健指導として実施する。	特定健康診査により抽出した糖尿病などの生活習慣病予備群に対して適切な保健指導を行い、対象者が生活改善を行うことで将来的な発症の抑制を目指すもの。	国保加入者40~74歳	特定保健指導実施率(%)	<p>特定保健指導の個別指導を定着化させ、訪問等により指導率のさらなる安定化・内容の充実を目指した。また、特定保健指導対象外の方には個別相談を案内し、集団で説明を希望される方には生活習慣病・骨折予防・認知症予防のいずれかについて出前講座を実施。</p>	【④-1完全オンライン配信】 保健指導の実施手段の一つにオンラインでの実施も加え、指導を受けやすくした。令和3年度より実施。令和4年度は1件実施。
27	幼児教育センター運営費	親子クッキング	幼児教育センター	親子で一緒に楽しむクッキングの開催。	親子料理体験をとおして親と子がふれあい、また、子どものころから「食」への関心を高める。	就学前の幼児と保護者	参加者満足度	<ul style="list-style-type: none"> 開催日:8月17日 開催場所:幼児教育センター 調理室 内容:親子で一緒に楽しむクッキング 対象:就学前幼児(3歳以上)とその保護者 	【④-1完全オンライン配信】 感染症拡大状況にてオンライン開催に変更した。受講者には資料を郵送した。当日は講師の実演と説明を聞きながら画面越しに親子一緒にクッキングに取組む姿があった。講習会後のアンケートには「Zoomで先生の手元や生地の状態がよく見えてわかりやすかった。」との感想をいただくなど、大変好評でオンライン開催の良さを感じた。

番号	中事業	事業項目	担当課名	事業内容	事業目的	対象者	指標式名	実施内容	「デジタル化」に対応した食育の取り組み
								令和4年度	
30	学校保健管理事業	子ども期歯科保健研修会	学校保健課	学校での歯科健康診断、歯科保健教育、むし歯や歯周疾患の積極的な予防のための研修会を開催。	市歯科医師会の協力のもと、本研修会を開催している。よい歯の学校(園)の表彰や、講演会の開催により、歯科保健の充実に寄与している。	教職員 保護者 歯科医	研修会参加人数	歯と口腔の健康に関する講演会を実施	【④-1完全オンライン配信】【③動画配信】 子ども期歯科保健研修会オンライン実施 ●方法:ライブ配信(講演及び質疑応答はオンラインで行い、終了後1週間アーカイブ配信を行った) ●開催日:令和5年2月11日(土) ●テーマ:「生きる力をはぐくむ歯・口腔の健康づくりを目指して」 ●講師:佐藤裕二(昭和大学歯学部教授) ●演題:「将来を見据えた口腔機能の健全な発達と低下予防」 ●内容:成人の口腔の現状から見た、子どもたちの現状や機能改善について
31	学校給食実施に関する事業	児童生徒の食育指導	学校保健課	特別活動や給食時間、総合的な学習などを利用した児童生徒の体験学習を実施	体験をとおして、児童生徒が健康的な食生活のあり方や望ましい食習慣を身につける。	児童生徒	小・中学校における体験活動とおした食育実施率	食育指導全体計画の作成	各教科等の指導では、効果的な場面でタブレットを活用した活動を仕組むなど実施している。アンケート調査やふりかえりでもGoogleFoam等を活用。教職員間の指導資料はデータで共有することもある。
36	介護食づくり教室	介護食づくり教室	健康づくり課	要介護者の状態を維持しながら、食べる楽しみを得るための介護食を習得する料理教室の開催。	介護を必要とする人の食べる機能の段階に応じた介護食づくりを行い、介護に携わる人の調理技術と食に関する知識を向上させる。	介護に携わる方 で介護食づくりに不慣れな方	料理教室の参加者数	・開催回数:10会場×2回コース ・定員8名 新型コロナウイルス感染症対策のため、1回あたりの参加者数を減らして実施。 ・歯科衛生士、管理栄養士の講話を実施後、調理実習を実施。	【②SNS】 参加者の募集を行うため、佐世保市の公式Facebook、Twitterへ記事を投稿し、周知を図った。
38	食育推進事業(再掲)	食育情報発信事業	健康づくり課	より多くの市民に食育情報を伝えるため、掲示、ラジオ出演、ホームページやSNSを活用した情報発信を行う。	食育に関心を持ち、実践する市民の増加を図る。	市民	情報発信回数	市役所連絡通路および図書館館内での掲示、ラジオ出演などさまざまな形で市民への食に関する情報提供を行った。また、新たにSNSを活用した情報発信に取り組むため環境整備を図った。本市ホームページ「みんなの食育ひろば」の内容を随時更新した。 掲示・・・6月・9月・3月、ラジオ・・・6月・9月	【②SNS】 秘書課が管理する本市Twitter、Facebook、及び庁内グループウェアにて食育に関する記事の掲載を行った。本市SNSには、本市事業に関する記事しか掲載できず、県の食育に関するキャンペーンの記事は掲載できないなど制約はあったが、より多くの市民の目に触れることができたと思う。
39	子育て支援啓発事業	乳幼児食育アドバイザー養成講座	幼児教育センター	乳幼児食育アドバイザー養成講座の開催 ※3~5年に一度の目安で開催。	食の大切さや乳幼児からの食育の必要性を、家庭や離乳食講座等で発信していくことができる担い手として、人材育成をする。	一般市民	参加者満足度	●開催日:9月9日、9月16日、10月6日、10月17日、10月25日(全5回) ●対象:食に関心のある一般市民、離乳食講座で「乳幼児食育アドバイザー」として活動していただけた方 ●内容:食に関する基礎知識、子どもの心身の発達について、実習など5講座	【③動画配信】 やむを得ず当日受講が出来なくなった参加者への対応として、各講師に承諾を得た上でオンライン配信の録画を行い、後日幼児教育センターで録画済みの動画を視聴してもらうことで受講したこととした。
40	食生活改善事業(再掲)	食生活改善推進員養成講座	健康づくり課	食生活改善推進員になるための養成講座の開催。	健康づくりの協力者を育成し、地域住民への食育推進を図る。	食生活改善推進員を目指す市民	修了者数	定員を20名として実施。食育に関する講話のほか、調理実習や医師講話、運動実習などを通して食のボランティアとして必要な知識の習得を図った。宇久島の受講希望者へは、リモート形式も併用しながら実施した。	【④-2ハイブリット配信】 宇久島での受講者は、島内での講座参加のほか、本庁開催時にTV会議システムを利用し、受講してもらった。一部音声聞き取りにくかったり、こちらで投影するスライドが見えなかったり等不都合はあったが、その都度改善を図りながら実施した。TV会議を利用することで、本庁と宇久島の受講者の交流もできるため、今後も継続したい。

番号	中事業	事業項目	担当課名	事業内容	事業目的	対象者	指標式名	実施内容	「デジタル化」に対応した食育の取り組み
								令和4年度	
42	食生活改善事業(再掲)	食生活改善推進員研修会	健康づくり課	食生活改善推進員の知識向上のための研修。	知識の習得・会員間の交流により、会員の資質向上と市民への対応力の向上を図る。	食生活改善推進員	参加率	食生活改善伝達講習会において、各地域での伝達内容を中心に研修会を開催した。 ・生活習慣病予防の調理実習 10地区×1回 ・講話による研修 8地区×1回 ・次年度の計画 8地区×1回 ・資質向上のための調理実習10地区×1~2回 ※地区によっては2回に分けて実施 ・講演会 1回 フォローアップ研修会 2回	【④-2ハイブリッド配信】 講演会1回は、食育実践者研修会の参加と兼ねている。会場と宇久をWebexにより接続してハイブリッドで開催した。
52	給食施設等指導事業(再掲)	調理従事者等研修会	健康づくり課	特定給食施設などの調理師及び調理員に対して、給食管理、衛生管理に関する知識や技術向上のための情報提供。	調理師及び調理員の資質の向上を図る。	特定給食施設などの調理師及び調理員	参加施設割合	・開催日程:10月18日、19日、20日 対象施設が多いため、3日間に分けて実施。 ・オンライン環境が整備されていない施設があること、かつ会場参加による感染拡大防止の観点から、会場参加及び後日、動画閲覧の形式で実施した。 ・対象施設数:321施設	【③動画配信】 後日動画を限定公開としたことで、施設内の複数人で研修を受講することができることなどのメリットがあった。 動画の撮影時、音声小さかったようで、聞き取りにくかったとの意見があり、撮影の難しさがあった。
53	食のリスクコミュニケーション事業	食のリスクコミュニケーション事業	生活衛生課	食品関係情報の提供と意見交換(リスクコミュニケーション)の推進。	衛生意識の向上による安全な食品の提供と食品事故を未然に防止する。	市民 食品関連事業者	意見交換会開催回数	・大学の学園祭の調理従事者向け講習会を実施(2回) ・テレビ佐世保に出演し、食中毒に関する啓発を実施(1回)	【④-1完全オンライン配信(TV)】 3年前からテレビ佐世保に依頼し、食中毒の啓発を行っている。昨年度は、食中毒に関するクイズを準備し、アナウンサーと職員が対話しながら収録を行った。
54	営業許可調査事業	衛生講習会	生活衛生課	営業者、営業所従事者及び消費者に対する衛生講習会の開催。	食品の安全性に関する基礎的な知識を習得する。	消費者 食品等事業者	食品衛生講習会実績	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、食品等事業者向けに食品衛生講習会を実施した。 ・消費者向け 3回 ・食品等事業者向け 26回	【①Webサイト】 当課では講習会以外にメルマガやホームページを利用して消費者や事業者に食品衛生情報を発信している。 【③動画配信】【④-2 ライブ配信(ハイブリット式)】 健康づくり課と合同で開催した「調理従事者等研修会」では、宇久はテレビ会議システムを使用してオンライン開催を実施した。また、当日の講話を録画し、欠席施設へ動画を配信した。